

2020年4月7日

各位

株式会社三井住友銀行

新型コロナウイルス感染の流行を受けて

昨日、三井住友銀行頭取 CEO 高島 誠は、新型コロナウイルス感染の流行を受けて、従業員に以下のメッセージを述べました。

記

現在、新型コロナウイルス感染症が世界中で流行し、役職員の皆さんとご家族、そしてお客さまが、大変不安な日々を過ごされているものと思います。特に、感染の不安と日々闘いつつ、多数のお客さまの対応にあたって頂いている営業店の皆さんに対しては、改めて、深く感謝申し上げます。

既に、多くの国で非常事態宣言、あるいは外出禁止令が出されている中、日本政府による緊急事態準備宣言が発出される見通しとされており、当行としても、この難局を確りと乗り切っていかなければなりません。そこで、私から直接、皆さんにメッセージをお伝えします。

日々の報道にある通り、大都市圏を中心に、予断を許さない状況に立ち至っています。私を本部長とする「新型コロナウイルス感染症対策本部」を立ち上げ、「役職員の皆さんとご家族の健康、そしてお客さまの安全・安心を最優先とする」との方針の下、在宅勤務、オフピーク通勤、スプリット・オペレーションを励行し、加えて、金融機関としての役割を継続して果たすべく、日銀特別ファンド・ビジネスセレクトローン特別ファンド等の取組を実施してきました。

追加施策について、例えば、罹患者が発生しても業務継続できる体制を構築し、お客さまにご迷惑をかけることのないよう、在宅勤務やスプリット・オペレーションを更に進め、特に、営業店の皆さんの安全確保のため、可能な限りの対応を行っていきます。

その他にも、日々の業務を遂行する中で、困ったことや不安なことがあれば、是非遠慮なく対策本部に連絡して下さい。感染症対策本部長として、役職員の皆さんの声に真摯に向き合い、改善に繋げていきます。

そして、お客さまも、我々と同様に、不安な日々を過ごし、大きな困難に直面されています。人の移動や物流が止まり、サプライチェーンは寸断されてしまうかもしれません。市場も混乱し、個人のお客さまは日々のめまぐるしい変化に動揺されています。また、法人のお客さまは、業績や資金繰りの不安に向き合いながら、日々ご奮闘されています。

このような時こそ、当行には、平時以上に社会の公器としての役割と責任が求められます。

厳しい環境においても、一人一人、一社一社のお客さまに真摯に寄り添い、誠心誠意、対応していくことが肝要です。人類にとって未知なる脅威に立ち向かっているとの危機感を共有しつつも、冷静さは失わず、共に助け合い、一丸となって、この未曾有の困難を乗り越えていきましょう。

以上